

板橋区地域保健福祉計画 地域でつながるいたばし保健福祉プラン 2025 「実施計画 2025」素案について

1 計画の策定について（本編 2 ページ）

超高齢化社会の到来や自然災害の増加、地域のつながりの希薄化による孤立化など、多様な地域生活課題に対応するため、「板橋区地域保健福祉計画 地域でつながるいたばし保健福祉プラン 2025 実施計画 2025」（以下「実施計画 2025」という。）では、地域保健福祉に共通する基本的な考え方や地域福祉の推進に向けた取り組みの方向性を示し、板橋区社会福祉協議会が策定する「板橋区地域福祉活動計画」と相互に補完・補強しながら、共に地域共生社会の実現をめざしていく。

2 計画の方向性について（本編 28 ページ）

「実施計画 2025」では、将来像として掲げた「住み慣れた地域でつながる保健と福祉のまち」を具現化するために、新型コロナウイルス感染症の影響による「新たな日常」への取り組みや「いたばしNo.1 実現プラン 2025」の重点戦略(①SDGs 戦略 ②DX 戦略 ③ブランド戦略)との連携を着眼点に加え、3つの基本理念を柱にした施策を展開していく。

また、社会情勢の変化に伴う地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応していくため、地域の活動主体と連携しながら、分野を超えた包括的な支援体制の構築に取り組む。

【実施計画 2025 における着眼点】（本編 30 ページ）

計画を推進するにあたって、ポストコロナ時代を見据えた「新たな日常」について着眼点とするほか、「いたばしNo.1 実現プラン 2025」の重点戦略と連携していく。

◆SDGs 戦略

新型コロナウイルス感染症の影響などによる社会情勢の変化にも柔軟に対応し、地域福祉の分野においてもSDGsの掲げる12のゴールの達成に貢献していく。

◆DX 戦略

オンライン化や蓄積されたデータベースの分析などの情報技術を活かしたDXの視点を福祉の分野にも取り入れ、時代の要請に対応した新しい支援のあり方を進めていく。

◆ブランド戦略

地域の様々な活動主体による地域発の活動力やユニバーサルデザインの視点に基づいたデザインを板橋区ならではのブランドとして区への愛着を深め、地域福祉活動の原動力としていく。

【実施計画 2025 と実施体系】（本編 33 ページ）

将来像 住み慣れた地域でつながる保健と福祉のまち ～地域共生社会の実現に向けて～

（着眼点）

ポストコロナ時代の「新たな日常」

いたばしNo.1 実現プラン 2025 との連携
重点戦略（①SDGs 戦略 ②DX 戦略 ③ブランド戦略）

基本理念 1

互いがつながり孤立しない
～ネットワーク～

基本理念 2

互いが支え合い助け合う
～コミュニケーション～

基本理念 3

すべての人が認め合い住みやすい
～ユニバーサル～

（ビジョン）

- ① 包括的な相談支援体制づくり
- ② 孤立化を防ぐネットワークづくり
- ③ 地域の生活課題を解決するしくみづくり

（ビジョン）

- ④ 地域の活動主体との協働・連携体制づくり
- ⑤ 地域資源を活用したコミュニティづくり
- ⑥ 災害時に支え合うしくみづくり

（ビジョン）

- ⑦ 多様性を認め合う基盤づくり
- ⑧ ユニバーサルデザインのまちづくり
- ⑨ 権利擁護の推進

3 主な取り組み（本編 36～58 ページ）

地域共生社会の実現をめざして、3つの基本理念ごとに地域福祉の推進に取り組む方向性を示していく。

◎基本理念 1 互いがつながり孤立しない～ネットワーク～

ビジョン① 包括的な相談支援体制の構築、生活困窮者自立支援事業の推進

ビジョン② 支え合いから始まる地域づくり、見守り活動の推進

ビジョン③ 複合化した課題のある家庭への支援、ひきこもり家庭への支援、高齢者への支援、子ども・若者への支援、ひとり親家庭への支援、障がい者（児）への支援、障がい者の多様な就労機会の確保

◎基本理念 2 互いが支え合い助け合う～コミュニケーション～

ビジョン④ 町会・自治会活動の活性化に向けた支援、地域の活動主体と連携・協働の促進、地域保健医療体制の整備、福祉サービスの質の向上・人材確保

ビジョン⑤ 地域の居場所づくり、地域の活性化に向けた資源活用

ビジョン⑥ 災害時要支援者等への支援体制の構築、災害時等の医療・保健衛生体制の整備

◎基本理念3 すべての人が認め合い住みやすい～ユニバーサル～

ビジョン⑦ ダイバーシティ&インクルージョンの理解促進、多文化共生に向けた促進活動

ビジョン⑧ ユニバーサルデザインの普及啓発、ユニバーサルデザインのまちづくり

ビジョン⑨ 人権意識等の尊重・啓発、成年後見制度の利用促進

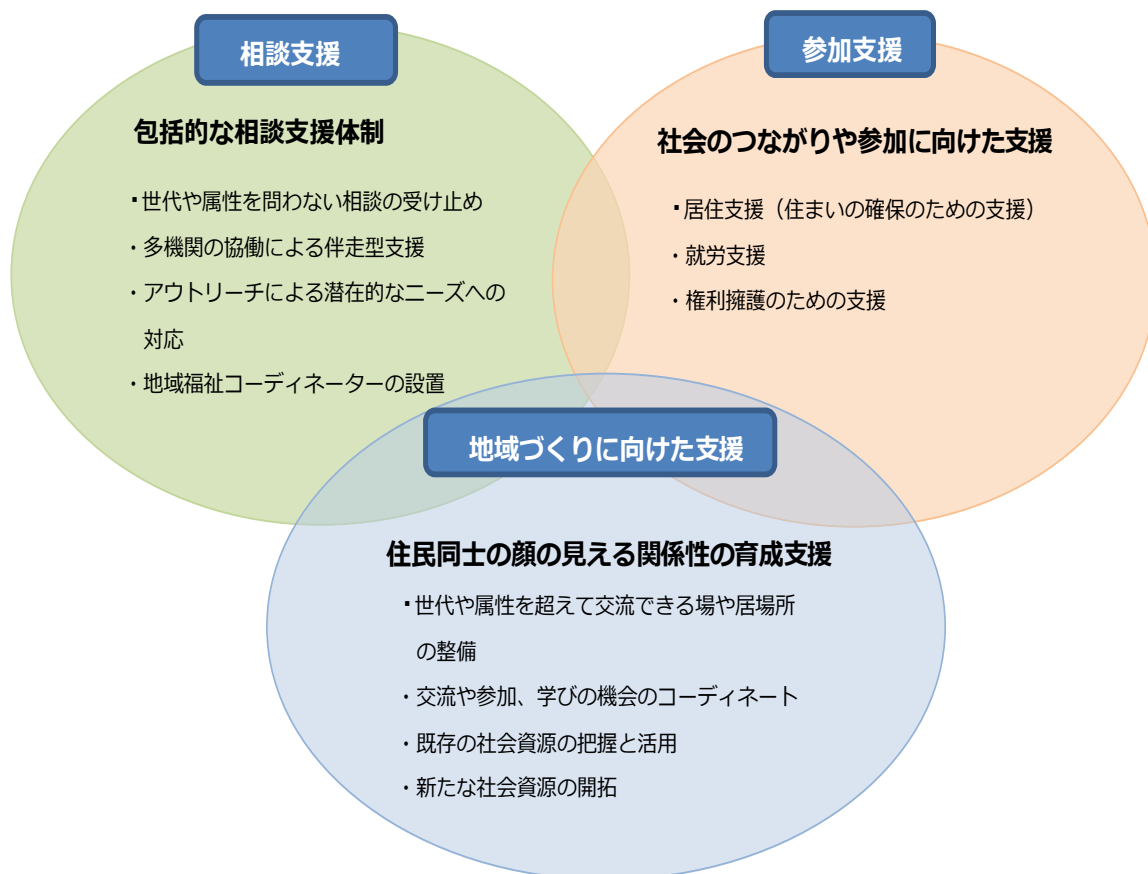
4 包括的な支援体制について（本編 37 ページ）

ダブルケアや 8050 問題、孤立状態にあり支援を求められない世帯への対応、貧困の連鎖といわれる生活困窮者の問題などの複雑・複合化した地域生活課題の解決に向けて、関係支援機関が連携し、相談者に寄り添った包括的な相談支援体制を構築する。

また、地域における出会いや学びの場など居場所づくりを行い、多様なつながりや参加の機会を確保し、地域住民が主体となって活動できるよう地域づくりを支援していく。

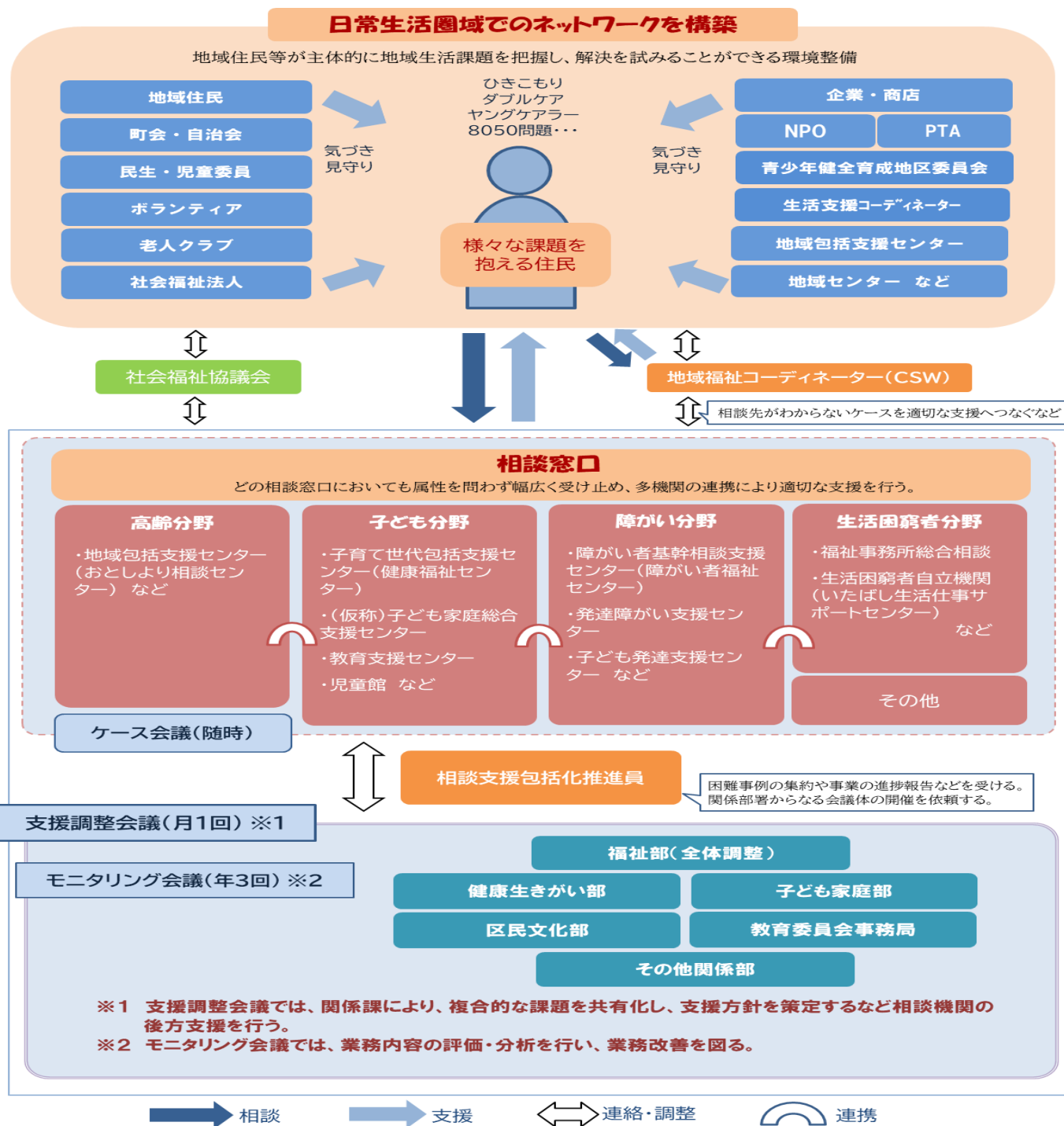
そして、包括的な支援体制の構築に向けて地域と関係機関（専門職）をつなぐ橋渡しとなる「地域福祉コーディネーター」をモデル事業として配置し、実施状況を検証したうえで、配置する圏域や機能の拡張について検討していく。

【包括的な支援体制の構築】



顔の見える関係性を築き、支え合いから始まる地域づくりを進め、
地域共生社会の実現を図ります。

【板橋区版包括的な相談支援体制のイメージ図】（本編 38 ページ）



5 今後の策定スケジュール (予定)

時期	会議名	備考
11月9日	健康福祉委員会	素案報告
11月20日	パブリックコメント募集	12月12日まで
12月下旬	地域保健福祉計画推進本部幹事会	
令和4年1月上旬	地域保健福祉計画推進協議会	
1月17日	地域保健福祉計画推進本部(庁議)	原案決定
2月16日	健康福祉委員会	原案報告・策定